

# フナバラソウ

*Vincetoxicum atratum* (Bunge) C.Morren et Decne.  
キョウチクトウ科

【福井県カテゴリー】新：県域絶滅危惧Ⅰ類 旧：県域絶滅危惧Ⅱ類

【環境省カテゴリー】絶滅危惧Ⅱ類

## 選定理由

県内でこれまで確認されている生育地は 10 箇所以下で、生育地は限られる。イヨカズラやクロバナイヨカズラとの雑種と考えられる集団がある。

## 種の特徴

日当たりの良い草地や明るい林縁等に生育する。塊状の地下茎がある。茎は直立し緑色、葉は対生、軟毛がある。夏には葉腋に黒紫色の花をつける。萼は緑色で、毛がある。果実から白い絹糸状の毛をもつ種子が飛ぶ。

## 分 布

北海道～九州に分布する。県内では高浜町、おおい町、敦賀市、坂井市、福井市で確認されている。

## 生育を脅かす要因

本種の生育地は人間の手の入りやすい環境である草地で、開発、土地造成等によって大きく減少している。また、草地の自然遷移も進行している。

参考文献 若杉孝生 (2008a)、佐竹義輔ほか (1981)、福井県植物研究会 (1998)

市 町 別 生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
		○	○			○					○						○

# ツルガシワ

*Vincetoxicum macrophyllum* Siebold et Zucc. var. *nikoense* Maxim.  
キョウチクトウ科

【福井県カテゴリー】新：県域絶滅危惧Ⅰ類 旧：県域絶滅危惧Ⅱ類

【環境省カテゴリー】—

## 選定理由

県内でこれまで確認されている生育地は 10 箇所以下で、各生育地とも個体数は少ない。最近 10 年間確認の記録がない。

## 種の特徴

山地の樹陰に生える多年生草本。茎は細長く高さ 60～90 cm、上部はつる状となる。葉には柄があり対生、初夏に暗紫色の花をつける。種子には白い絹糸の冠毛がある。

## 分 布

本州～九州に分布する。県内では池田町、大野市で自生が確認されている。

## 生育を脅かす要因

森林伐採、道路工事等の開発による生育地の消失。また自然遷移の進行により生育地、個体数とも減少している。

参考文献 佐竹義輔ほか (1981)

市 町 別 生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
									○							○	

# ミヤマムラサキ

*Eritrichium nipponicum* Makino  
ムラサキ科

【福井県カテゴリー】新：県域絶滅危惧Ⅰ類 旧：—

【環境省カテゴリー】—

## 選定理由

県内では稀産種で、現在知られている生育地は 1 地区のみである。

## 種の特徴

高山の砂れき地に生える多年草。太い地下茎の先にロゼット状に細い葉を付け、全体に灰白色のあらい毛がある。葉は長さ 3～6 cm、幅 4～6 mm。茎は高さ 6～20 cm、茎葉は長さ 1～2.5 cm。7～8 月頃、径約 8 mm の淡青紫色の花が総状花序に付く。

## 分 布

北海道～本州（中部地方以北）に分布。県内では嶺北地方の一部で確認されている。

## 生育を脅かす要因

産地が限られていることによる。

参考文献 佐竹義輔ほか (1981)

市 町 別 生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
																○	